

甘州涼州地方に於る回鶻は、其の移徙し來れる後、常に壯騎を出して唐の赤水軍を佐けたりしこと、前に引ける〔四七〕唐書回鶻傳に記せるが如くなるが、年月を経ると共に、漸く勢力を得たるが如く、承宗の時に至りては、涼州都督河西節度使王君奭との間に事を生じ、承宗の流刑に處せらるゝや、遂に其の部は叛きて王君奭を殺し、安西都護治下の諸國の朝貢の道を梗絶するに至れり、此の事は舊唐書廻紇傳には

開元年中廻紇漸盛、殺涼州都督王君奭、斷安西諸國入長安路  
と記し、新唐書回鶻傳には

承宗立、涼州都督王君奭、誣暴其罪、流死灤州、當此時回紇稍不循、族子瀚海府司馬護輸、乘衆怨、共殺君奭、  
梗絶安西諸國朝貢道

と記せるが、兩唐書王君奭傳には、更に之に關する詳細の事情を載せたり、即ち舊唐書には

初涼州界、有廻紇・契苾・思結・渾四部落、代爲酋長、君奭微時往來涼府、爲廻紇所輕、及君奭爲河西節度使、廻紇等怏怏耻在其麾下、君奭以法繩之、廻紇等積怨、密使人詣東都、自陳枉狀、君奭遽發驛、奏廻紇部落難制、潛有叛謀、上使中使往按問之、廻紇等竟不得理由、由是瀚海大都督廻紇承宗長流灤州、渾大將長流吉州、賀蘭都督契苾承明長流藤州、廬山都督思結歸國長流瓊州……於是承宗之黨瀚海州司馬護輸、糺合黨與、謀殺君奭、以復其怨、會吐蕃使、間道往突厥、君奭率精騎、往肅州掩之、還至甘州南鞏箆驛、護輸伏兵突起、奪君奭旌節……遂殺君奭、馱其屍以奔吐蕃、追及之、護輸遂棄君奭屍而走

と記し、新唐書の記事も亦略ぼ之に同じ、即ち此の事件は回鶻以下の鐵勒諸部が王君奭に對する怨恨の爲に惹起せ